

6月16日から、岡山県に腸管出血性大腸菌感染症注意報が発令されています。

O157などの腸管出血性大腸菌は、腹痛や血便などの症状を起こすだけではなく、乳幼児や高齢者では、貧血や尿毒症を併発して、命にかかわることもあります。感染症を予防するため、調理前、食事前、トイレの後、動物を触った後などは手をよく洗いましょう。また、肉など加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。

主な初期症状は、腹痛、下痢などです。気になる症状があるときは、早めに医師の診断を受けましょう。

注1：1回の放送は400字以内です。注2：同一内容の放送回数は、原則として4回までです。

注3：書式（フォントサイズ・間隔・行間等）を変更しないでください。